

2026 年 10 月 9 日
フューチャー株式会社
(東証プライム:証券コード 4722)

フューチャー、国内セキュリティ研究の中核となる学術シンポジウム 「コンピュータセキュリティシンポジウム 2026 (CSS2026)」に協賛・登壇

フューチャー株式会社(東京都品川区、代表取締役社長 谷口友彦、以下フューチャー)は、2026 年 10 月 19 日(月)～23 日(金)に開催される「コンピュータセキュリティシンポジウム 2026(以下 CSS2026)」に協賛します。併せて、合同開催される「OSS セキュリティ技術ワークショップ 2026 (OWS2026)」に実行委員として参画します。フューチャーのセキュリティ専門チームであるサイバーセキュリティイノベーショングループよりコンサルタントが登壇し、論文発表や講演、デモンストレーションなどを行います。

CSS2026 は、「情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会」と「セキュリティ心理学とトラスト研究会」が共催する、国内セキュリティ研究の中核をなす学術シンポジウムです。幅広いセキュリティ領域を対象とするセッションや、テーマを絞り込んだ 8 つのワークショップが合同開催されます。基礎研究から応用まで様々な研究領域の論文募集も行われ、当社からは採択された 2 本の論文について発表を行います。

フューチャーのサイバーセキュリティイノベーショングループは、企業全体のセキュリティをデザインする専門チームとして、脆弱性管理ソリューション「FutureVuls※」をはじめ、様々なセキュリティコンサルティングサービスを提供しています。

今回のシンポジウムでは、脆弱性管理ソリューションの現場知見をもとに、脆弱性検知条件の検証や、公開前情報の観測結果、保守停滞 OSS の検知と依存関係削減といった、最新の実践的研究に関する成果や実機デモを広く公開します。今後もフューチャーはセキュリティに関する産・官・学の連携に取り組むとともに、あらゆる組織のセキュリティレベル向上に貢献します。

■論文発表(発表日:10 月 20 日)

①脆弱性検知条件の供給源の再検討 ―検知精度による NVD・VulnCheck・一次データソース の比較と LLM による構造化

脆弱性の検知条件を得る情報源(NVD、VulnCheck、一次データソース等)の比較と、LLM を活用した検知条件の構造化について検証・発表します。

発表者:フューチャー株式会社 アーキテクト 中岡 典弘
(共著:シニアアーキテクト 篠原 俊一)

②脆弱性情報の上流は安定していない: 公開前検査による 116 日間の全数観測

脆弱性情報の公開前検査を継続的に全数観測(116 日間)し、情報の上流における不安定性や動向に関する観測結果を発表します。

発表者:フューチャー株式会社 シニアアーキテクト 篠原 俊一
(共著:アーキテクト 中岡 典弘、シニアアーキテクト 神戸 康多)

■講演・パネルディスカッション(開催日:10 月 21 日)

【OWS2026 招待講演】CVE の死角から依存関係を減らすまで——uzomuzo と Code Diet の実践

既知の脆弱性(CVE)追跡のみでは見落としがちな、開発・保守が停滞・終了した OSS のリスクを解説します。国内約 100 組織の本番環境で使用される約 16,000 の OSS パッケージ調査を踏まえ、保守状況を評価する OSS ツール「uzomuzo」および依存削減アプローチ「Code Diet」の実践による成果、LLM による個別分析・変更案の支援等について、検証課題も含め紹介します。

【OWS2026 パネルディスカッション】AI は OSS の守護者か、それとも破壊者か？ ～フロンティア AI 時代の OSS セキュリティ～

AI 時代の OSS 開発・公開・利用のあり方や研究コミュニティに対する期待等について多角的に議論します。

登壇者・パネリスト:フューチャー株式会社 シニアアーキテクト 神戸 康多

■デモンストレーション・ポスターセッション(開催日:10 月 19 日)

①パッケージ管理外の実行ファイルからの照合キー変換の到達可能性に関する実測(DEMO-11)

発表者:フューチャー株式会社 コンサルタント 星名 藍乃介

シニアアーキテクト 神戸 康多

②その脆弱性、本当に呼ばれているか？ - Java 逆向き到達可能性解析の実機デモ(DEMO-40)

発表者:フューチャー株式会社 シニアアーキテクト 神戸 康多

・「CSS2026」公式サイト:<https://www.iwsec.org/css/2026/index.html>

※ FutureVuls とは

FutureVuls は OS・ミドルウェアからライブラリまで含めた幅広いシステムの脆弱性に対し、検知・情報収集・対応判断・タスク管理・パッチ適用といった脆弱性管理の一元化と自動化を可能にするソリューションであり、GitHub 上に無償で公開している「Vuls」のエンタープライズ向け商用版です。

「FutureVuls」はフューチャー株式会社の登録商標です。製品サイト:<https://www.vuls.biz/>

■お問合せ先

フューチャー株式会社 広報担当:松本、石井

TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム: https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php